

# あかつき 暁

あかるく かがやく つしまの きぼうのおか

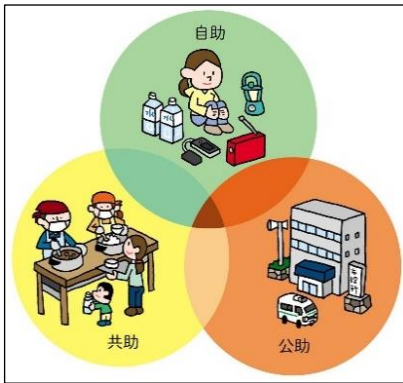
津島市立暁中学校便り

令和5年1月17日(火)

## 命を守る

今日1月17日は、阪神・淡路大震災が発生した日です。28年前(平成7年)の出来事です。

その日のニュースを見ていたときの感情は、今でもはっきりと覚えています。ビルディングが傾いたり横倒しになったり途中の階が潰れたり、高架になっている高速道路が根元から倒れたりしている映像が、どのチャンネルからも流れていました。それまで、そのようなニュースを見たことはありませんでした。これは、現実のものなのだろうか、映画やテレビドラマのものなのだろうか、頭の中がしばらく混乱していました。そして、じわじわと恐怖感に包まれていきました。



さらに、地震だけではなく大規模な火災も発生しました。しかし、地震による被害のため消火活動も難航し、なかなか鎮火しなかったことも記憶にあります。

この災害をきっかけに、建築に関する基準等を始め、様々な方面で多くのことが見直されることとなりました。わたしが「自助・共助・公助」という言葉を知ったのも、この災害のころだったと思います。多くの方の尊い命を犠牲にした過去の災害、その教訓を生かして災害に備えることが、現在の我々にとってとても大切です。

## 一本の電話から

1月10日(火)、地域の方から学校に一本の電話がありました。内容は、次のようなものでした。



ある商業施設の近くで、わたしは突然せき込み、しばらく止まらなくなりました。そのとき、暁中学校の生徒さん2人が近寄ってきて、

「大丈夫ですか。」

と、声をかけてくれました。

そして、その2人は、わたしのせきがおさまるまで、近くにおいて、見守っていてくれました。

とても心強く、ありがたく、うれしく思いました。

人が、心細かったり、困っていたり、悩んでいたるとき、その心に寄り添うことが一番の助けになると思います。この電話の話を聞いて、心がほっと温くなるのを感じました。暁中学校のめざす生徒像そのものだと思います。これからも、地域の役に立ち、地域から愛される暁中生であってほしいと思います。